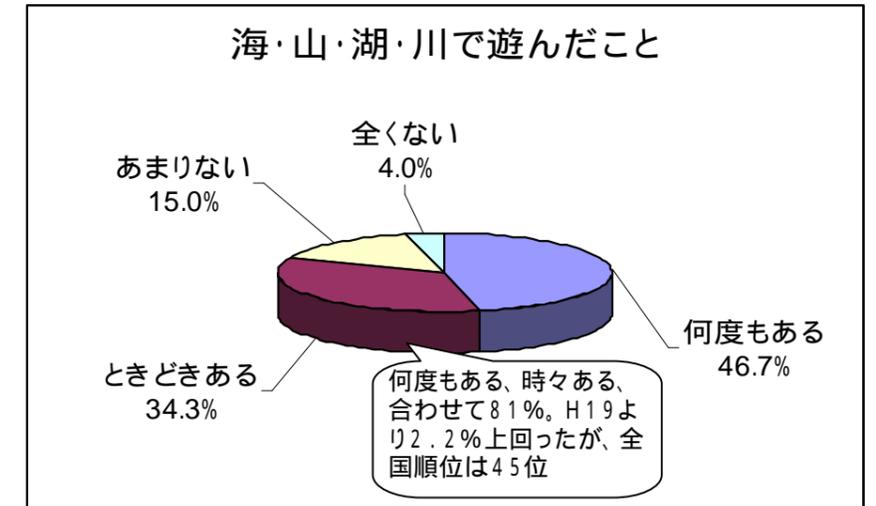


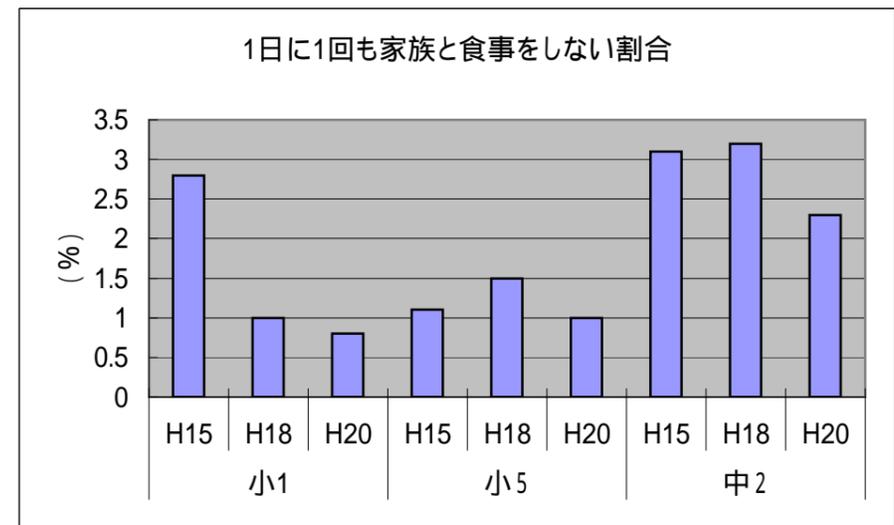
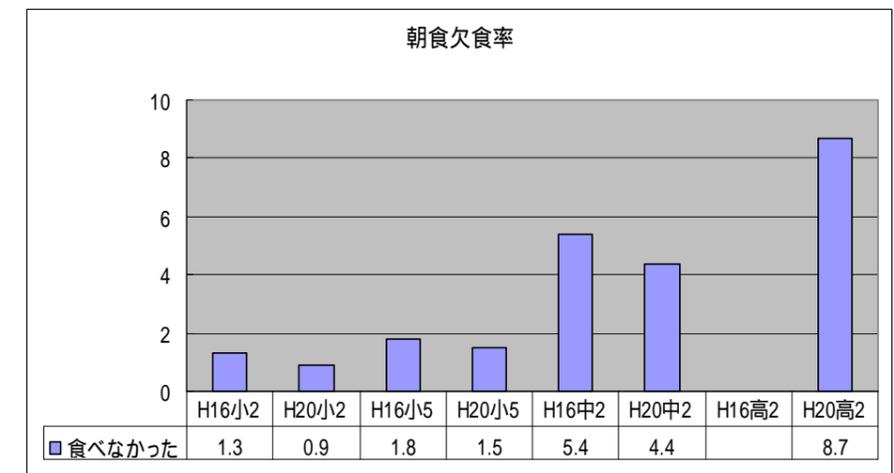
2 子どもの健全な育成

	現状と課題等
多様な交流・体験活動等の促進	<p>全国学力・学習状況調査の結果から、本県の児童は、自然体験活動の経験率が他県に比べて低い。</p> <p>スポーツや文化活動、同世代や異世代との交流・体験活動の機会が減っており、地域の人々の支援を受けながら、多様な交流・体験等ができる機会が必要である。</p> <p>核家族化が進んでおり、放課後や週末等において子どもが安全で安心して活動できる場の提供が必要である。</p>
健全な食習慣の確立	<p>子どもの朝食の欠食や偏食などが見られ、1日に1回も家族で食卓を囲むことができない家庭もある。</p> <p>毎日、しっかり朝ごはんを食べるなどの健康な食習慣とともに保護者に対する食育の理解を深めてもらう必要がある。</p>
性、飲酒、喫煙、薬物などに対する正しい知識の普及と良好な環境の整備	<p>携帯電話・インターネット等の普及により、性・薬物等に関する有害情報が氾濫しており、子どもの不良行為や非行防止、犯罪被害防止のため、正しい情報の提供、習得が必要である。</p> <p>思春期は心身の問題が生じやすいが相談機関が限られている。将来のライフスタイルにも影響することから、予防的関わりや問題が生じた際の適切な対応が必要である。</p> <p>子どもたちの規範意識が変化し、性行動の低年齢化、未成年者の飲酒や喫煙、違法薬物の使用等の問題が発生していることから、家庭、学校、地域社会が連携しながら、社会全体の規範意識の醸成と子どもにとって良好な地域環境の整備が求められる。</p>

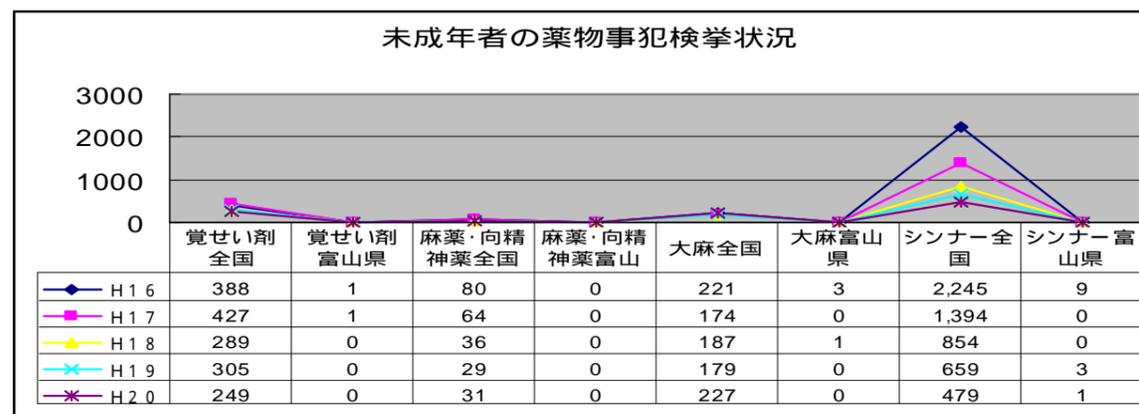
県の主な取組
<p>身近な地域で子どもたちの自然体験活動を普及推進する「公民館わくわくどきどき自然体験事業」と、3歳児から小学校2年生までの子どもと親を対象に宿泊体験をする「とやま子育て自然体験事業」を実施</p> <p>「夏合宿等・異年齢生活体験推進事業」への支援</p> <p>希望する小学生を対象に、放課後や週末等に学校や公民館等の身近な施設を利用して体験活動や交流活動等を支援する「放課後子ども教室推進事業」を実施</p> <p>保護者が昼間家にいない児童に対し、放課後や週末等に遊びや生活の場を提供する「放課後児童健全育成事業」や地域住民などが行う自主的な子どもの居場所づくりである「さんさん広場推進事業」を実施</p>
<p>「健康づくりノート」を活用した健康な食習慣や生活習慣づくりを推進</p> <p>学校給食における地産地消の推進</p> <p>栄養教諭等を中核に食育の推進</p>
<p>若者の性・飲酒・喫煙・薬物等に対する正しい知識の啓発を図るための、児童、生徒、保護者等に対する健康教育の実施</p> <p>厚生センターにおける電話相談(思春期テレフォン)や面接相談などの実施</p> <p>「青少年健全育成キャラバン隊」を県内全市町村へ派遣する等、青少年育成富山県民会議の活動を支援</p>



【資料 文部科学省「H20全国学力学習状況調査小6アンケート」】



【資料 富山県教育委員会 食生活等アンケート】



【資料：富山県警察本部】